

神奈川県立高津養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	高津養護学校 第4回たかつコミュニティスクール		
開催日時	令和4年2月25日(金)		
開催場所	書面開催(オンライン動画視聴)		
出席者	伊藤 甲之介(会長)・浅田 幾美・竹内 啓二・北村 奨・大坪 明日香・鈴木 義之・佐藤 宏樹 ・伊藤 はるか・清水 武彦(校長) 校内職員 12名		
次回開催予定日			
問合せ先	高津養護学校 副校長 樋笠 晴美 電話 044-865-4921 Fax番号 044-877-2626		
下欄に掲載するもの	議事概要	議事概要とした理由	
審議内容	<p>1. 年間評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では様々な教科の専門的な先生方がいらして、さぞかし、とと思っていましたが、そうした人材の発掘が規模が大きいくだけで工夫が必要なのだ、改めて感じました。どうしても、クラスや学年でそれぞれ担当があって、となると視野が狭くなりがちですが、サポートシステムや教材の共有など、これまでの成果も取り入れやすく、校内の人材も含めた財産の有効活用といった点でも素晴らしいと思いました。 ・個別教育計画以外にも保護者の目に見えない多くの取り組みや学校管理、運営にご尽力頂いている事に感謝いたします。多くの場面で生かされることを期待します。 ・学び応援部会ではお世話になりました。NPO法人としても大変貴重な機会になりました。お役に立てたのであれば幸いです。 ・サポートBOX、サポート掲示板の取り組みはとても良い活動だと思ふ。特例子会社でも参考にできる部分が多い。あそび応援部会での「地域の方々によるラジオ体操リレー」も大変良い取り組みでも前回も申し上げましたが、弊社もぜひ参加させていただきたい。まなび応援部会でも進路の情報提供の面でもっとお役に立ちたいと存じます。 ・教育課程、学習指導において「手立て」を目標設定時に記入をするようにしたことは良いと思います。 ・校内人材バンクやサポートシステムが機能していることは素晴らしい。サポート掲示板やサポートボックスなどは良い仕掛けなので、もっと外部に自慢げに発信しても良いと思いました。何よりも、係があることが素晴らしい。良いシステムを作っても係が明確でないと機能しません。係がサポート課題を掘り起こし機能させることが肝要です。他にも児童生徒の活動なども含めて、素晴らしい取り組みがあるので分かりやすくして自慢げに保護者や外部に発信すると良いと思いました。発信は大切です。 ・ケース会という名の学習会、ラジオ体操動画等々、一工夫した取り組みが盛りだくさん。魅力のある学校だと思います。 ・教育課程についてですが、生活単元はとても良い学習の形態だと思います。その活動には学んだことが一挙手一投足の中で行われています。まさに、生きて働く知識技能だし思考力、判断力、表現力の育成です。そして児童生徒に見通しを持たせることによって学びに向かう力の涵養もはかることができます。しかし、生活単元の重要な点として学んだことを使ってみて能力にするという点があります。そこで、各教科等で何を学ぶか、学んだことを生活単元でどう使ってみさせるか、ということが大事になります。両論です。このことを踏まえてカリキュラムマネジメントを全校で促進していただければと思います。 ・サポートBOXやケース会な先生方のチームワークによる取り組みはすばらしいと思います。今後も生徒のために活かしていただきたいと思っています。 ・学習指導ではサポートシステムの活用で特に校内人材バンクを使うことは多様性に対応できると感じています。 ・教材の整理は学校の資源を有効活用することで、見直しは随時実施できるようにしてはどうか。 		
	<p>2. たかつの学校生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長いコロナ渦の中で、それぞれご苦労されている様子が伝わりました。その中でも限られた学校生活で少しでも体験できることを増やそうとする積極的な姿勢が伝わりました。プールの活動や生活単元学習、出前授業の他、学習発表会など学校時代しかできない体験をしっかり積み上げている様子を知ることができました。 ・どの学部もコロナ渦でありながらも工夫を凝らして色々なテーマに取り組んでいただけるのはありがたいと思います。 ・コロナ渦での制約の中、様々な工夫を凝らして児童、生徒の笑顔を増やすための活動に賛同します。 ・新型コロナウイルス感染症渦においても、それをできない理由にするのではなく、知識や技術、アイデアを活用して「今までやらなかった方法でやってみる」などの実施するための努力がとても感じられました。 ・ミニブーケやお届け隊など地域とつながった活動も実施できたことも素晴らしいと思いました。 ・特別活動は大切です。工夫をして、実施したことは児童生徒の成長にも大きく関与すると思いました。 ・オンラインの活用も素晴らしいと思いました。しかし、オンラインでは身につけられないこともあります。教職員の会議もオンラインで十分な事項とオンラインでは不足な事項があります。今後は新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、オンラインと対面の効果についても検証をしていく必要があると思います。話が前後しますが、学習活動の中で「やれることを教員間で共有」したことも素晴らしいと思いました。 ・プールの水位を下げて体育を行うなど、先生方が工夫されて取り組む姿に敬意を表します。 ・コロナの蔓延防止のため、学校の行事も制限を受けていたと思いますが、色々工夫され子どもたちが生き生きしている写真を見せていただきました。 		
	<p>3. 学校評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きや人的交流などコロナ渦で致し方ない部分もありますが、逆に動画などの活用がいち早く取り組まれたことなどは、好評につながったと思います。進路の部分も評価が上がり、安心しました。 ・保護者としてはやはり学校内で我が子がどのように過ごしているのかが一番知りたいですが、コロナ渦で中の様子がうかがい知れないことが残念です。連絡帳や動画など先生方のご協力も大いにありがたいと思います。校内を自由に見学できるようになるのが待ち遠しいです。 ・コロナ渦であっても学校の取り組みが児童・生徒や保護者によく伝わっていると理解しました。今後も継続して実施されることを期待しています。また以前から申し上げているように近郊の特別支援学校のアンケートと比較し、高津養護学校の強み、弱みを明確にしていくことは重要かと思ふ。 ・概ね高評価をいただきありがとうございます。少し評価の低い項目について(授業参観等)大変ご苦労されていると思ふますが、日程の分散、オンライン、動画配信等の一層の取り組みをお願いします。 ・生徒の評価を実施したことは良い。 ・保護者評価が上がっていることは良いことですが、これに安心するのではなく、まだ工夫する必要がある項目について、努めていただければと思います。 ・生徒評価で「生徒の意見をきいてくれた」が高い評価を得ていました。生徒の思いを汲み取るようとする先生方が努力が生徒にもよく伝わっていることが窺えました。 ・保護者の方の評価で、お子さんを学校に預けて相対的に良かったとしているが、前年と同様に教員評価が保護者の評価より低くなっていることが気になりました。 ・保護者、生徒さんと学校側がその時々状況に応じた情報共有をより密にすることで、目で見える学校評価の取り組みの向上が実現できると思ふ。 		

4. その他意見

- ・今回動画等の視聴形式でしたので、大変解りやすくご説明いただきました。他の委員の方のご意見も伺えるのももちろん顔を合わせてがベストですが、今回のような形式も先生方の工夫した部分がよくわかり、とてもよかったですと思いました。ありがとうございました。
 - ・2年間、あまり協力ができずに終わってしまいましたが、良い経験をさせていただきありがとうございました。素敵なメモ帳ありがとうございました。
 - ・「継続は力なり」常にこの方法で良いのか、改革できるものはないか？問い続けていきましょう。これからも応援します。
 - ・弊社の親会社もサステナビリティ経営を掲げており、より一層ご協力できればと存じます。
 - ・一日も早くコロナが終息し、「秋の遊び場」や「ポッチャ」などで生徒の皆さんと交流できることを願っています。
 - ・年間の活動がコロナ渦の中で行われてきた多くのエネルギーをさいて努力されてきたと思います。私は長年お世話になりましたが、今年で町会役員を下ります。避難所運営会議では学校の先生方から前向きのご意見いただきありがとうございました。
- ◎令和3年度 学校運営について承認されました。

会議資料